

X 経営計画 1 「教育計画」 (3) 教育研究推進計画 ①全体計画

校長名	岩見 博文	担当者	阪本 千弥
学校教育目標	確かな学力をもち、夢や志に向けて能動的に活動する生徒の育成		
研究主題	対話を通して主体的な学びを深める授業の在り方 ～総合的な学習の時間における評価の在り方に関する研究を通して～		
主題設定の理由	<p>「確かな学力」の育成は、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して実現が図られるものである。</p> <p>本校では、各種学力調査、i-check、生徒アンケート等の結果から、本校が設定する「育成すべき資質・能力」でもある「主体性」に課題があることが明らかになった。その一因としては、少人数集団のため幼少期から人間関係が固定化されていることが考えられ、授業内での発言が活性化しにくかったり、その教科を得意な生徒が話し合いをリードしてその生徒の意見がそのまま全体の意見となってしまったりしている実態がある。そこで、総合的な学習の時間を中心に、これまでの「課題発見・解決学習」の実践の積み上げの上に、PBL(プロジェクト型学習)の考え方を加えた相互作用を促す授業づくりとその評価の在り方についての研究を進める。得られた成果を、授業をはじめとする教育活動に広げていくことで、対話を通して主体的な学びを深める活動を行い、生徒の「主体性」を高めたいと考え、本研究主題を設定した。</p>		
重点的な課題	<p>(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる。</p> <p>(2) PBL(プロジェクト型学習)の考え方を加えた相互作用を促す授業を充実させる。</p> <p>(3) 評価についての研究を推進し、評価結果を、生徒の学習改善や教師の指導改善に活用する。</p> <p>(4) 対話を通して主体的な学びを深める活動を行い、生徒の「主体性」を高める。</p>		
研究仮説	<p>探究的な学習の充実に向け、PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考に、評価の在り方を研究して指導にいかせば、生徒が主体的な学びの力を深め自らの成長を実感し、主体性を高めることができるであろう。</p>		
研究推進の具体的方策	<p>(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる。</p> <p>○指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな知識や技能を既得の内容と結びつける機会の設定 全国学力・学習状況調査、三次市学力到達度検査等による到達度の把握 個に応じたきめ細やかな指導の推進(補充学習、学習相談、個別指導の充実) <p>○学習習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習習慣の定着(生徒による家庭学習計画の立案と、生活習慣の見直しによる2時間以上の学習時間の確保) 読書の推進(年間15冊以上) 自学ノートの実践 <p>(2) PBL(プロジェクト型学習)の考え方を加えた相互作用を促す授業を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題の解決を通して行う学習に適した教材の開発とその研修の充実 生徒の長所や特技を活かした、協働的な活動の充実 思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造していく活動の充実 <p>(3) 評価についての研究を推進し、評価結果を、生徒の学習改善や教師の指導改善に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個の変容を見取る評価方法の研究とその実践 生徒が自らの学習を振り返り、学習方法を工夫改善する機会の設定とその支援 評価を基にした指導方法や授業改善の研究とその実践 <p>(4) 対話を通して主体的な学びを深める活動を行い、生徒の「主体性」を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者との協働や対話、先哲の考え方を手掛かりに自己の考えを広め深める活動の充実 見直しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる機会の設定とその支援 各種コンクール・検定への呼びかけと、挑戦する生徒への指導と支援 		
検証の視点	<p>(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の、基礎的・基本的な知識及び技能が定着しているか。 生徒が、中学生として望ましい学習習慣を確立しているか。 <p>(2) PBL(プロジェクト型学習)の考え方を加えた相互作用を促す授業を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が授業で、課題に対する解決方法を探して、結果を予測しながら実行していると実感しているか。 生徒の、思考力、判断力、表現力等が高まっているか。 <p>(3) 評価についての研究を推進し、評価結果を、生徒の学習改善や教師の指導改善に活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が、フィードバックを基に、見直しをもったり振り返りを行ったりしようとしているか。 生徒が、授業を通して学びの深まりを実感している。 <p>(4) 対話を通して主体的な学びを深める活動を行い生徒の「主体性」を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が、他者との協働や対話、先哲の考え方を手掛かりに自己の考えを広め深めていると実感しているか。 生徒の、主体的に学習に取り組む態度が涵養されているか(学習計画を基に、粘り強く学習に励み、必要に応じて自らの学習を調整しようとしているか)。 生徒が将来への見直しをもって、各種コンクールや検定に挑戦しようとしているか。 		
検証の方法	<p>全国学力・学習状況調査、「基礎・基本」定着状況調査、三次市学力到達度検査、i-check、生徒アンケート(授業評価アンケート、授業に関する意識調査、生活学習状況調査)、ルーブリックによる評価(自校作成)、行動観察、ノートやワークシート等の記述の変容、授業の振り返り記述</p>		

【学校教育目標】

確かな学力をもち、夢や志に向けて能動的に活動する生徒の育成

【めざす生徒像】

- ① 夢や目標の実現に向けて努力・挑戦する生徒（学力、意欲）
- ② 当たり前のことが立派にできる生徒（社会性）
- ③ 自ら学び、自ら考え、主体的に判断して行動できる生徒（主体性）
- ④ ふるさとを誇りに思い、社会に貢献する生徒（貢献）

【育む資質・能力】

- 1 コミュニケーション能力
- 2 主体性
- 3 自らへの自信

【研究主題】

対話を通して主体的な学びを深める授業の在り方
～総合的な学習の時間における評価の在り方に関する研究を通して～

【研究仮説】

探究的な学習の充実に向け、PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考に、評価の在り方を研究して指導にいかせば、生徒が主体的な学びの力を深め自らの成長を実感し、主体性を高めることができるであろう。

